

「高千穂郷」通信



高千穂高校の 林業現場見学会を開催

5月22日(火)に、高千穂高校1年生(107人)を対象にした林業現場見学会を開催しました。このイベントは高千穂高校の世界農業遺産関連カリキュラムを活用した取組で、高校生に地元の基幹産業の一つである林業をより身近な職業として知ってもらうことを目的に、今年初めて開催された取組です。

当日は高性能林業機械での伐採作業見学や造林体験のほか、男女で分かれてYAMASHI(若手林業家グループ)の皆さんとトークセッションを行い、積極的な意見交換がなされました。

【林務課】



林業の未来を語る「やまテラス」設立



FBページを
新設!

支庁林務課では、林業従事者をはじめとする地域の方々と、山の将来等について意見を交わす場として新たに「やまテラス」を設けました。やまテラスの中でいただいた意見を、行政の事業や西臼杵林業振興協議会の活動に反映していくことにしております。

地域の皆さんがこの「やまテラス」を身近に感じ、積極的にご参加いただけるように、愛称とロゴマークを作成するとともに、活動内容を広くタイムリーに発信するため、新たにフェイスブックのページを開設しました。活動に対するコメント等は大歓迎ですので、皆様の「いいね!」をお願いします。林業に関する疑問等があれば、いつでもお問い合わせください。【林務課】

▶スマホのカメラアプリでかざしてください
簡単にアクセスできます!



やまテラスのイメージ図

夏山フェスタin福岡でユネスコエコパーク紹介

6月23日（土）、24日（日）に、福岡市で「夏山フェスタin福岡」が開催され、九州各地の登山愛好家をはじめ、多くの来場者の方に「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」エリアの魅力についてPRしました。

ユネスコエコパーク登録後に登山客が増えている祖母・傾・大崩山系の独特な景観美や希少な動植物の価値を伝えるために、県の関係者及び高千穂、日之影各町の職員とともに、パンフレットなどの情報提供を行いました。



△高千穂山の会のメンバーの皆さん

当日会場を訪れた登山愛好家の中にも祖母や傾から眺める景色が好きで「また登りに行きたい!」といった声も多くブースに寄せられました。

【高千穂山の会の取組】

安全な登山が出来るように、地元・高千穂町の「高千穂山の会」では、登山道の整備や清掃活動、啓発活動に取り組んでいます。会員の皆さんはそれぞれ道具と資材を持って山に登り、コース上の傷んだ登山道を改修し、登山客が安全に登山できるような活動を進めています。地元を訪れる登山客増加が期待される中で、地域における取組も今後一層重要になります。



中川登集落で田んぼアートがありました

6月20日（土）に、高千穂町の中川登集落でアート米の田植えが開催されました。今年で8回目を迎える田植えには、県外の大学生や地元の子供たちを含め、約70名が参加し、泥にまみれながら今では珍しくなった手植えを楽しみました。

今年は、同集落を母体とする「農事組合法人高千穂かわのぼり」の5周年記念をテーマに、約30アールの田んぼにデザインをしました。

8月下旬から9月中旬ごろには見頃を迎える予定です。天岩戸神社に向かう県道緒方・高千穂線から見る事が出来ますので、中川登集落を通る際には、ぜひ田んぼの稲の成長をご覧ください。



△今年度の田んぼアート集合写真



西臼杵でりんどうの栽培が始まりました

りんどうは5月から10月にかけて出荷される夏秋の花き品目で、鮮やかな青色や紫色、水色を基調としたパステルカラーが特徴の美しい花です。西臼杵では、平成28年度から管内の生産者によりりんどうの試験栽培が取り組まれており、早速5月から出荷が開始され、その品質の高さが市場で高い評価を得ています。

今年度からは生産者6名が加わり計7名で、18.8aの栽培をはじめており、5月22日（火）に開催された現地検討会には、多くの生産者や関係者が参加しました。栽培ほ場にはりんどうが咲いており、参加者は真剣な姿でほ場を視察し、意見交換を行いました。

本格的な出荷は来年度からになります。西臼杵の新しい花きの品目として定着するよう、産地化に取り組んでいきたいと思っております。



美しいりんどうの花



神代川かわまちづくり八百万神の会

5月31日（木）に、今年度第1回目の「神代川かわまちづくり八百万神の会（推進協議会）」を開催しました。この協議会は、平成26年度より開催しており、西臼杵支庁と高千穂町を事務局に、地元関係団体や地域の代表者を中心として構成されています。「神代川かわまちづくり計画」に基づいて、具体的な実施内容について、協議や調整を行い、評価見直しを実施しています。

今回の協議会では、主に河床の仕上げ方について、模型を用い検討を行いました。模型を用いることでより具体的なイメージを持ちながら議論を行うことができ、仕上げ方に関する方針案についても参加者間で大筋が固まってきたところです。

今回の協議結果については、7月末に開催を予定している「神代川河川再生検討委員会」にて協議し、仕上げ方を本決定する予定としていますので、今後かわまちづくりにご期待ください。



西臼杵地区認定農業者協議会総会・体系的農家研修

6月15日（金）にゆめゆめプラザTACにて、西臼杵地区認定農業者協議会総会研修会、交流会が開催されました。当協議会では、農業技術等に関する研修会を年に複数回開催するとともに会員同士の情報交換や連携強化を進めることで、担い手としてのレベルアップを目指しています。

研修会では、NOSAI北部西臼杵センターから「収入保険制度」について解説がありました。また、講師としてご参加いただいた宮崎市の(株)池内米生産組合 事務局長 井上新三郎氏からは、農業生産法人を設立するまでの人のまとめ方、次の将来像に向けた農地集積や作付計画などについて具体的な紹介がありました。地域全体での取組みや集落営農の必要性について考えるきっかけになりました。



高千穂高校からのお知らせ

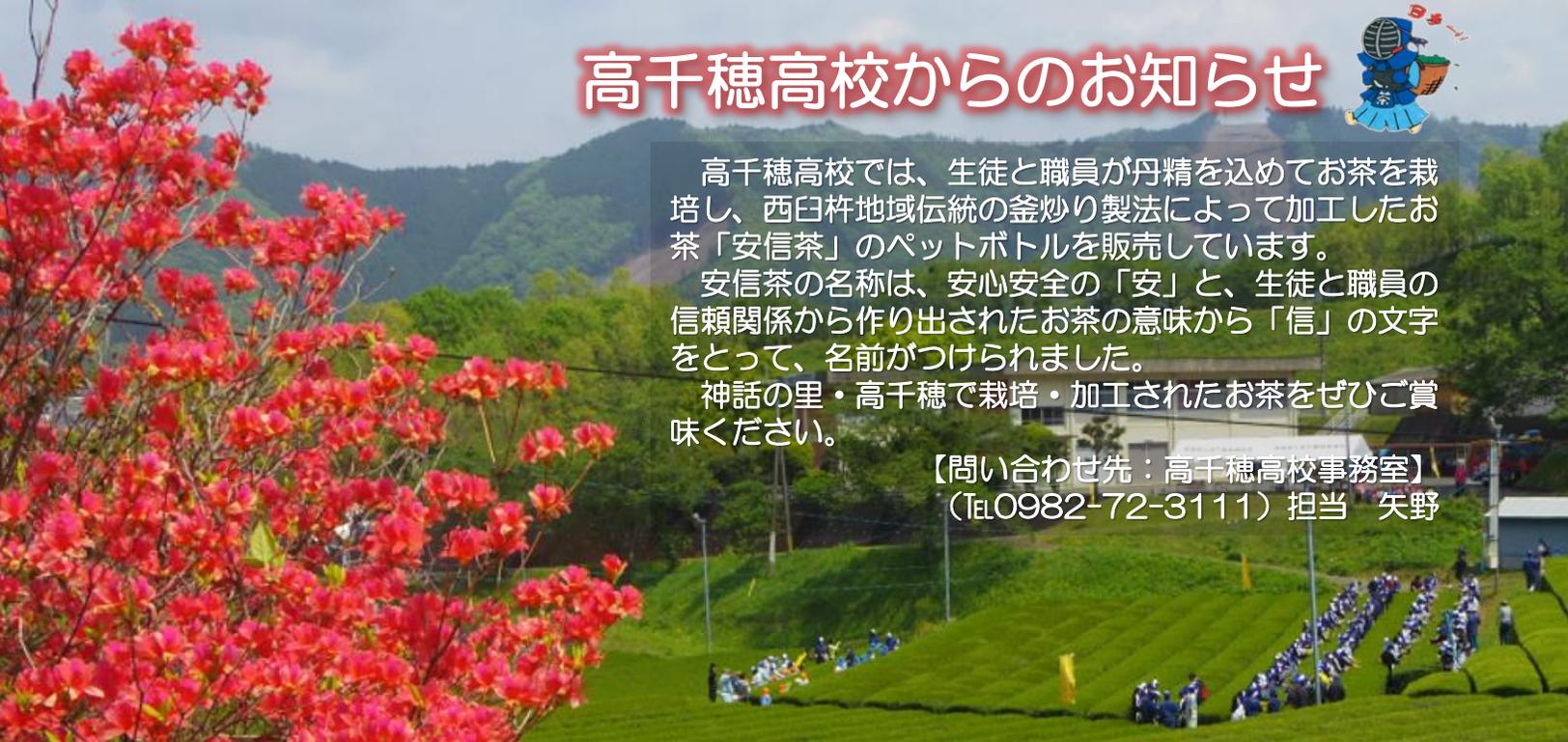


高千穂高校では、生徒と職員が丹精を込めてお茶を栽培し、西臼杵地域伝統の釜炒り製法によって加工したお茶「安信茶」のペットボトルを販売しています。

安信茶の名称は、安心安全の「安」と、生徒と職員の信頼関係から作り出されたお茶の意味から「信」の文字をとって、名前がつけられました。

神話の里・高千穂で栽培・加工されたお茶をぜひご賞味ください。

【問い合わせ先：高千穂高校事務室】
(TEL0982-72-3111) 担当 矢野



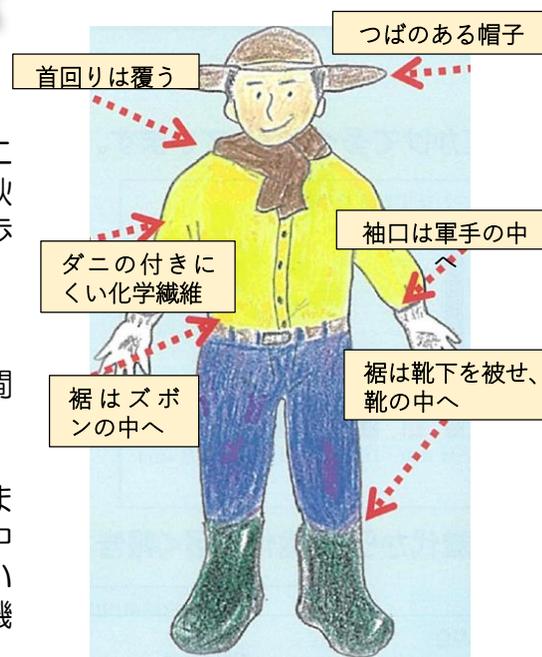
高千穂保健所からのお知らせ

マダニに注意！

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、ウイルスを持ったマダニに咬まれることによって感染する病気で、特にマダニが盛んな春から秋にかけて注意が必要です。農作業・山林作業での活動や、庭仕事、散歩時など身近な活動においても感染が疑われる事例があります。

症状は、発熱、消化器症状（食欲不振、嘔気、下痢、腹痛）、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状です。潜伏期間は、6日間から2週間程度です。

草むらや藪に入る場合は、肌の露出を少なくし、防虫スプレーをしましょう。また、帰宅後には、衣服を家の外でたたいて、マダニを家の中に持ち込まないようにしましょう。また、マダニに咬まれ肌についていることに気づいた場合には、無理にとろうとせず、皮膚科などの医療機関（ペットの場合は最寄りの動物病院）を受診しましょう。



STOP！不法投棄 ～西臼杵地区のきれいな環境を守りましょう～

県では不法投棄ゼロを目指す取組を行っており、県内各地でパトロールを実施しています。西臼杵地域でも自らの山に廃棄物を不法投棄する事例などが見受けられます。環境や景観に大きな影響がありますので、廃棄物の適正処理をお願いします。

パトロール実施中

● 不法投棄とは？

法律で「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない」と定められており、これに違反して廃棄物を捨てることを不法投棄といいます。また、自分の土地であっても、みだりに投棄した場合には不法投棄となります。

● 土地の所有者・管理者の方へ

不法投棄者が見つからず、土地の所有者自ら廃棄物等を処分せざるを得ない場合もあります。日頃から土地の見回りや看板設置など防止対策を講じておきましょう。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ 「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」更新中！

記事として紹介できるイベントや取組等がありましたら、上記まで御連絡ください！

